

【ESD学習支援活動】

奈良市富雄第三小中学校 第8回ユネスコ委員会 支援報告書

奈良教育大学 学部4回生 谷垣 徹

1. 日時 平成29年12月6日(水) 14:00~16:00
2. 場所 奈良市富雄第三小中学校 第一理科室
及び 5年2組学級教室
3. 参加者 英語教育専修 修士1回生 糸 綾香
英語教育専修 学部4回生 谷垣 徹
奈良市富雄第三小中学校
小学部児童17名、中学部生徒21名
奈良市富雄第三小中学校 教員6名

4. 内容

- ・ビオトープ班、国際交流班からの活動現状報告
- ・今後の活動の計画
- ・近畿ESDコンソーシアム子どもフォーラム(1月27日@奈良教育大学)での発表内容について

5. 活動支援報告

今回は小中学部合同の委員会で、全体での活動現状報告があった後、ビオトープ班と国際交流班の二つに分かれて今後の活動についての計画に移った。今回の支援を通して感じたこととして、以下の2点を報告する。一つ目に活動グループ間での情報共有について、二つ目に常時活動の定着化についてである。

一つ目の活動グループ間での情報共有についてであるが、ユネスコ委員会では上に述べたとおり、9月から全体を「ビオトープ班」と「国際交流班」の二つに分かれて活動している。分かれて活動を進めているため、他方のグループでの活動について把握しきれない部分があるが、委員会の冒頭で、全員が一堂に会し、それぞれの班からの進捗状況を報告しあうことで双方の活動内容について知り、一つの委員会としてまとまった活動が可能になっていると感じた。グループ活動の効果的な行い方がなされていると感じた。

二つ目の常時活動の定着化であるが、ユネスコ委員会では月1回の委員会活動に加えて、活動の内容や進捗状況に合わせて適宜集まって活動している。児童生徒の自主的な活動が活発に行われており、月1回の委員会活動だけではなく、日常の学校生活の中に委員会活動が根付いていることに感銘を受けた。

年内の委員会活動は今回が最終回で、年度末まで残り3回となった。ユネスコ委員会は今年度新たに設立された委員会であるが、担当の先生方の綿密な計画と児童生徒の自主的な活動で、すでに具体的な活動が進行している。また、1月27日(土)に奈良教育大学で予定されている「近畿ESDコンソーシアム成果発表会 子どもフォーラム」でもユネスコ委員会の児童生徒が発表することを予定されており、子どもたちの発表が非常に楽しみである。



全体での活動状況報告の様子



ビオトープ班の活動広報ムービーを見る